

経営比較分析表（令和6年度決算）

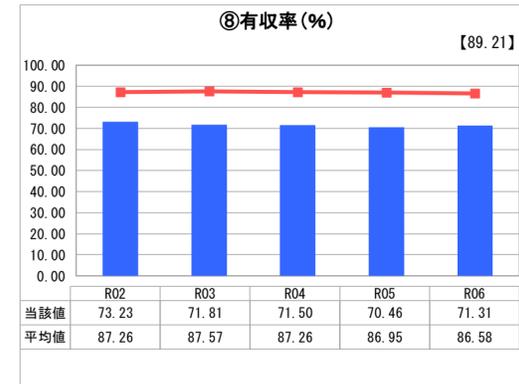
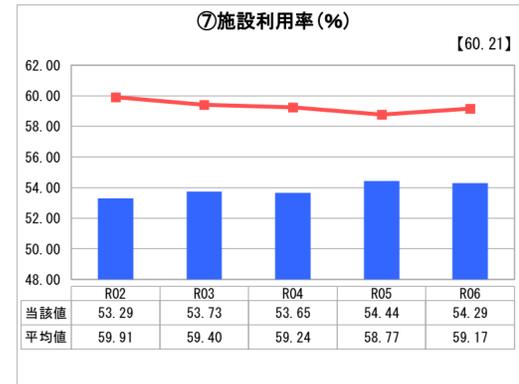
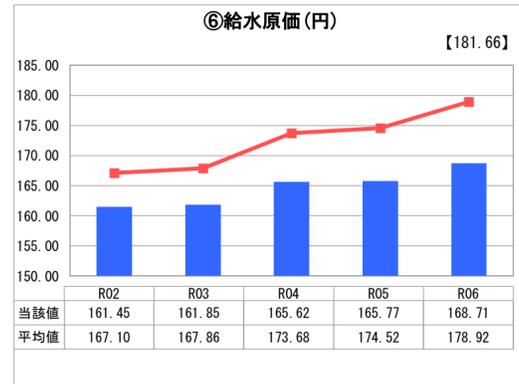
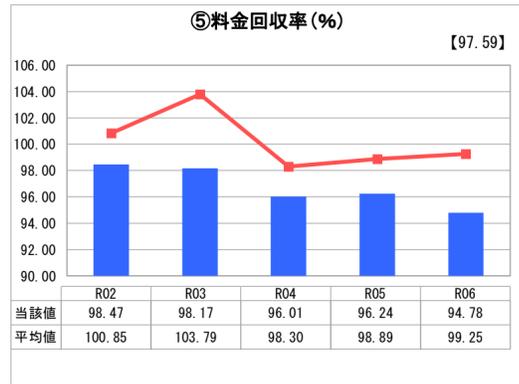
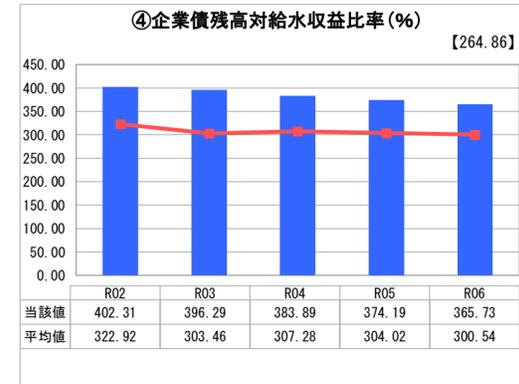
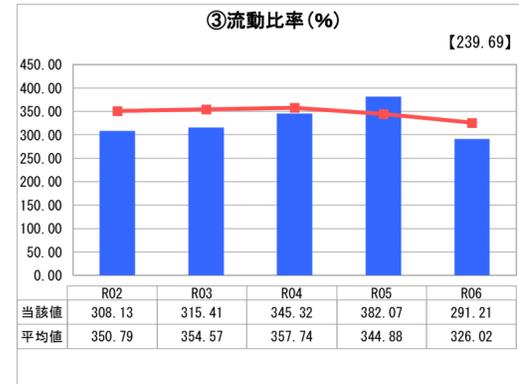
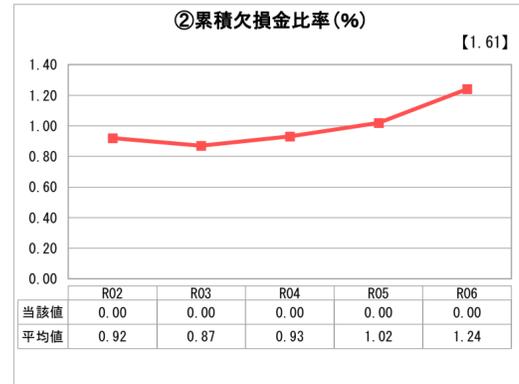
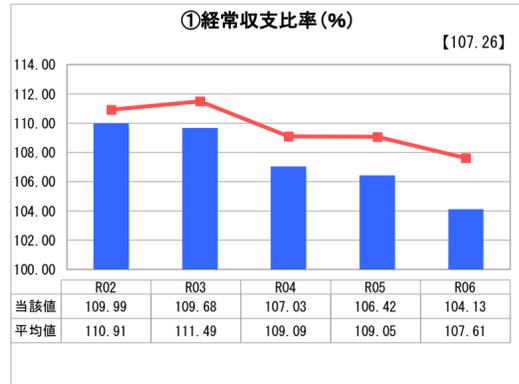
岐阜県 高山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	73.84	99.00	2,618	

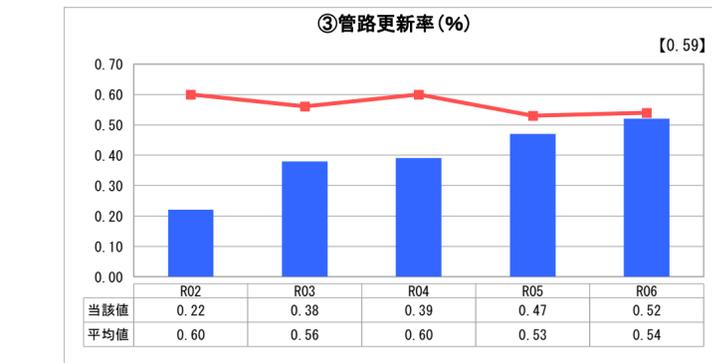
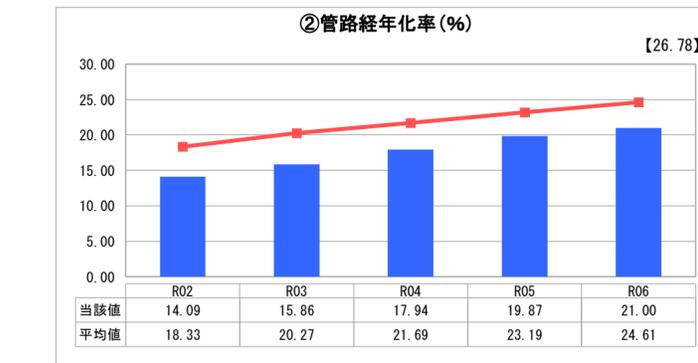
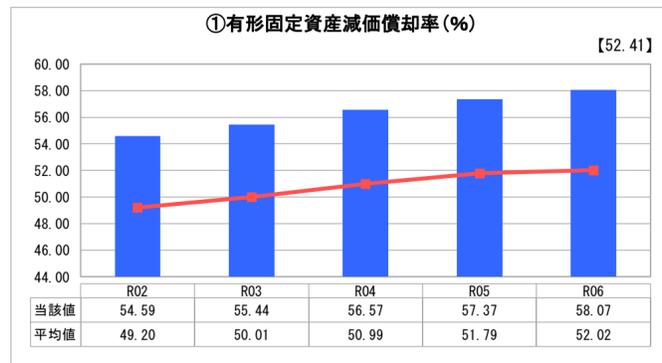
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
82,486	2,177.61	37.88
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
80,994	168.21	481.51

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 本市の水道事業は、平成27年度に全ての簡易水道事業を経営統合したため、多くの指標で類似団体平均値を下回っている。
- 経常収支比率及び料金回収率は、人口減少等の影響による水需要の減少に伴う収入減により低下している。
- 給水原価は、労務費や動力費の増加により上昇している。
- 施設利用率は、山間部に集落が点在し、地理的に多くの水源を利用していることや、人口減少による水需要の減により平均を下回っている。
- 企業債残高対給水収益比率は、高い数値を示しているが、旧簡易水道債に対する一般会計繰入金により将来の償還資金は確保できており、企業債残高の計画的な減少は図れている。
- 有収率は、特に低い地域での集中的な漏水調査及び老朽管更新により改善傾向にある。

2. 老朽化の状況について

- 管路経年化率は、類似団体より低い値を示しているが、管路更新率が低いため上昇傾向にある。
- 管路更新については、基幹管路（大口径）から優先的に更新しているため、更新延長が短く、管路更新率は平均値を下回っている。
- 今後は、AI劣化診断調査において高リスクと判定された配水管の更新と基幹管路の耐震化を並行して効率的な管路更新を行うこととしている。

全体総括

高山市水道ビジョン・経営戦略に基づき、中期的な視野で必要となる事業量を把握し、事業費の低減と平準化及び投資と財源の均衡化を図りながら事業を進めることとしているが、人口減少の影響による給水収益の減少に加え、労務費や物価高騰による維持管理費及び更新費用の増加が大きな課題となっている。

今後、水需要に応じた配水区域の再編や水道施設のダウンサイジングにより効率的な施設更新を進めるなど必要な投資と将来負担のバランスを考慮しつつ、適正な料金水準の設定を行いながら、健全で安定した水道事業経営に取り組んでいく。